

「知ってほしいな、この日本文化」

- 1 日時 平成29年10月4日(水) 5時間目
- 2 学年・学級 3年B組(男子14人 女子16人 計30人)
- 3 単元名 Program 6 「Let's Talk about Japanese Things」
My Project 8 「日本文化を紹介しよう」(Sunshine English Course 3 開隆堂)
- 4 本単元を指導するにあたって

本単元での文法事項として、現在分詞・過去分詞の後置修飾を扱う。内容は、パート1・2で登場人物たちが「鳥獣戯画」「けん玉」をこれらの文法事項を使用しながら紹介する。パート3では「日本の行事・道具」について1～2文で説明する活動、そして、My Project 8では日本文化を紹介するというまとまりのある表現活動につながっている。海外からの観光客が増え続け、2020年の東京オリンピックを控えている今日、海外から来られた方に日本文化について説明するという実際の場面がイメージしやすく、相手に伝わることを意識して話そうとする態度を促すことができると考える。

本学年の生徒は1学年で「自己紹介」、「世界に伝えたい日本人」を、2学年で「自分の夢」「学校紹介」をテーマにスピーチ活動を重ね、必要な英語の言語材料と発音やイントネーションなどの知識・技能を身に付けさせるだけでなく、アイコンタクトや表情、効果的なジェスチャー等も意識させるなどして表現力の向上を図ってきた。英語を得意とする生徒は、できるだけ自然な英語で話そうと意識してスピーチ活動等を行うが、英語が苦手な生徒の中には、声が小さかったり、棒読みになってしまったり、最後まで原稿から目を離せなかったりと自信をもって発話することができない生徒もあり、相手に伝わることを意識して話す表現力を十分に身に付けさせていない。

ネイティブスピーカーに伝わる英語で書き、話すという目的意識をもち、主体的に取り組ませるため、実際の言語の使用場面として、11月8日に予定しているイングリッシュデイ(市内で勤務する12名のALTを本校に招き、英語での学習活動を行う日)での発表を設定した。本学年生徒全員が、海外から来られた方にぜひ知ってもらいたい(体験してもらいたい)日本の伝統行事やものについて説明するという場面である。このことにより、生徒にこれまで習得してきた英語の知識や技能、表現力を十分に活用させ、相手意識をもった練習を重ね、コミュニケーションツールとしての英語を使う楽しさを体感させたい。

【生徒の主体的な学びを促すポイント】

- 全員がイングリッシュデイでALTに日本の行事等を紹介するという場面を設定し、仲間と協力しながら、分かりやすい説明をすることを目標設定させる。
- 日本のどの行事やものを紹介するか、また発表方法について、生徒に自ら考えさせ、決定させる。
- 他のグループの紹介と自分たちの紹介を比較させることで、各自に新たな課題を発見させ、表現方法を改善させる。

【基礎・基本の定着】

(1) 習得すべき基礎・基本について

- 動詞の現在分詞、過去分詞を用いた後置修飾の意味、形、用法を理解している。

○「r」「l」「th」「v」「f」「er」など、日本語にはない英語特有の発音、イントネーション、リエゾン等を意識した発話ができる。

○日本の伝統的な行事やもの等を説明するための基本的な語句、文法事項、文構造を理解している。

(2) 定着への手立て

- 新出文法を授業中のパターンプラクティスと家庭学習において繰り返し練習させる。
- 不規則動詞の発音やつづりを授業開始時の「帯学習」でのインプットで復習する。
- 発音とイントネーションを意識した音読練習をさせ、教師が一人一人をチェックする。
- 授業の中で日本の行事や道具を2～3文で説明する練習をする。

5 単元の目標

- 現在分詞，過去分詞を用いた後置修飾の意味，形，用法を理解する。
- 日本の行事やものについて大まかな特徴を理解する。
- 新出文法を含む英文を使って積極的に対話したり，自分の意見を伝えたりしようとする。
- 既習事項や辞書等を活用して，積極的に英文を書くことができる。
- 新出文法事項を含むまとまった量の英文を聞いたり，読んだりして理解する。
- 既習文法事項や辞書等を用いて，日本の伝統文化を紹介する英文を書くことができる。
- 日本の行事やものについて，聞き手に内容が伝わる説明をすることができる。

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①内容が相手に伝わることを意識して積極的に話そうとしている。 ②既習文法事項や辞書等を活用して，積極的に英文を書こうとしている。	①既習文法事項を用いて，目的に応じて書くことができる。 ②日本文化について，聞き手に内容が伝わる説明ができる。	①新出文法事項を含むまとまった量の英文を聞いて理解できる。 ②新出文法事項を含むまとまった量の英文を読んで理解できる。	①新出文法事項の意味，形，用法を理解している。 ②日本の行事やものについておおまかな特徴を理解している。

7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では，小中9年間で身に付けさせたい9つの能力を定めている。(重点◎)

塩町中学校区9能力					
① 情報活用能力 (調べてまとめる力)	○	④判断力 (自分で決める力)		⑦体力・継続力 (ねばり強くやりきる力)	
② 発見力 (見つける力)		⑤表現力 (伝える力)	◎	⑧人間関係形成能力 (人とかかわる力)	○
③ 思考力 (考える力)		⑥将来設計能力 (なりたい自分を描く力)		⑨生活力 (学んだ事を生かす力)	

①情報活用能力 ……たくさんの情報から必要なものを取捨選択し整理することができる。

⑤表現力 ……相手に伝わることを意識した英文を書くことができ，話して伝えることができる。

⑧人間関係形成能力 ……仲間と協力してよりよいプレゼンテーションができる。

8 指導と評価の計画（全13時間）

次	学習内容 (時数)	評 価						
		関	表	理	知	評価規準 (評価方法)		
(前 時 後 半)	○イングリッシュデイのパフォーマンス課題を知る。							
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「知ってほしいな、この日本文化。」</p> <p>今年もイングリッシュデイがやってきます。12人のALTさんの中には日本に来られたばかりの方もおられます。これから生活される上でこれは知っておいた方がいい道具や行事は何でしょうか。これまで学んできた知識と表現力を駆使して、ALTさんに英語でわかりやすく説明しましょう。</p> </div>							
	○紹介すべき内容を考え、意見を出し合う。 (例) 大晦日 (大掃除, 年越しそば, 紅白歌合戦) 正月 (初詣, おせち, お年玉, 雑煮, もち, 年賀状) 節分, ひな祭り, 端午の節句, 七夕, 甲子園, お盆, ○今の時点でどのくらいの説明文が書けるかワークシートに書いてみる。(今の段階では難しいことに気付く)							
1	帯 不規則動詞の復習インプット ○現在分詞を使った後置修飾の意味, 形を理解する。 ○英文のパターンプラクティスをする。 ○仲間と問答する。 ○現在分詞を使って行事を説明する英文を書く。(1)	○				ア① (活動の様子)		
2	帯 不規則動詞の復習インプットと綴りテスト ○教科書の新出単語の意味と発音を練習する。 ○教科書の会話文を教科書を閉じて聞き取る。 ○発音とイントネーションを意識しながら音読練習をし, 教師の音読チェックを受ける。(1)		○			イ② (音読チェック)		
3	帯 不規則動詞の復習インプットと綴りテスト ○過去分詞を使った後置修飾の意味と形を理解する。 ○パターンプラクティスで使い方を練習する。 ○仲間と問答する。 ○自己表現文を作る。(1)	○				ア① (活動の様子)		
4	帯 Q&A ミニ読解 (日本文化を紹介する英文) ○教科書の新出単語の意味と発音を練習する。 ○けん玉について実物を見せながら説明できるように練習する。 ○発音とイントネーションを意識して個人で音読練習をし, 教師の音読チェックを受ける。 ○けん玉について英語で説明する。(1)		○			イ② (音読チェック)		

5	<p>帯 Q&A ミニ読解（日本文化を紹介する英文）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新出単語の意味と発音を練習する。 ○8つの日本の行事や道具について説明する英文の空欄を埋めて完成させる。 ○8グループ（3～4人編成）をつくり，教科書にのっている8つの行事・もの（ひなまつり・七五三・大晦日・子どもの日・ゆかた，和太鼓・風呂敷・しょうゆ等）のうち2つずつを担当し，さらに詳しい説明を加える。 ○他の班の説明と比較するなどし，より良い説明文を完成させる。 (1) 	○				ア② (活動の様子)								
6	<p>帯 Q&A ミニ読解（ジャマイカの文化を紹介する英文）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時に各グループでつくった8つの行事・ものについて説明する英文を読んで練習する。 ○各自，説明できるように練習する。 ○相手に伝わる説明ができるか，仲間と確認する。 ○ALTに日本の行事や物について実際に説明する。 本時 (1) 	○				イ② (活動の様子)								
7	<p>帯 日本の行事やものを説明する英文インプット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パフォーマンス課題を再確認する。 ○ハロウィーンやお月見の説明を読んで理解し，その文章構成を参考にする。 ○自分たちのグループ（生活班）がどの内容を説明する担当になるのかを話し合い，決定する。 ○書く力の評価指標を知る。 <table border="1" data-bbox="240 1227 1423 1639" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="240 1227 1423 1279" style="text-align: center;">評価指標（ループリック）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1279 432 1384" style="text-align: center;">A <small>（素晴らしい）</small></td> <td data-bbox="432 1279 1423 1384"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Bができている。英文は6文以上 ・ 質問や，自分の経験，相手の文化との比較等，聞き手に興味をもたせる内容になっている。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1384 432 1532" style="text-align: center;">B <small>（良い）</small></td> <td data-bbox="432 1384 1423 1532"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在分詞，過去分詞の後置修飾を含む英文で4～5文程度の紹介文が書けている。 ・ 接続詞，代名詞などを使って自然な流れで構成された文章になっている。 ・ 単語のつづりミスは5か所まで。（辞書を使おう！） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1532 432 1592" style="text-align: center;">C</td> <td data-bbox="432 1532 1423 1592"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。 </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が担当する日本文化についてまずは自分一人で説明文を書く。 ○班のメンバーで英文を出し合い，それぞれの文を組み合わせながら説明文を完成させる。 ○ALTのネイティブチェックを受ける。 ○英文を清書し，説明できるように練習をする。 (2) 	評価指標（ループリック）		A <small>（素晴らしい）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bができている。英文は6文以上 ・ 質問や，自分の経験，相手の文化との比較等，聞き手に興味をもたせる内容になっている。 	B <small>（良い）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在分詞，過去分詞の後置修飾を含む英文で4～5文程度の紹介文が書けている。 ・ 接続詞，代名詞などを使って自然な流れで構成された文章になっている。 ・ 単語のつづりミスは5か所まで。（辞書を使おう！） 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。 	○				イ② (ワークシート)
評価指標（ループリック）														
A <small>（素晴らしい）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bができている。英文は6文以上 ・ 質問や，自分の経験，相手の文化との比較等，聞き手に興味をもたせる内容になっている。 													
B <small>（良い）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在分詞，過去分詞の後置修飾を含む英文で4～5文程度の紹介文が書けている。 ・ 接続詞，代名詞などを使って自然な流れで構成された文章になっている。 ・ 単語のつづりミスは5か所まで。（辞書を使おう！） 													
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。 													

8	帯 日本の文化を説明する英文インプット ○「話す力」の評価指標を知る。									
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価指標（ルーブリック）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">A <small>（素晴らしい）</small></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ Bができています。 ・ 英語独特の発音を常に意識して話している。 ・ 話すスピードを変えたり、適切な間を効果的にとったりしている。 ・ 原稿はほぼ暗記できている。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B <small>（良い）</small></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発音，イントネーションを意識した発話ができている。 ・ 笑顔，聞き取りやすい声，適切なジェスチャーを意識して話している。 ・ 原稿は2回程度見るが，大半を覚えている。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。 </td> </tr> </table> </div>	A <small>（素晴らしい）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bができています。 ・ 英語独特の発音を常に意識して話している。 ・ 話すスピードを変えたり、適切な間を効果的にとったりしている。 ・ 原稿はほぼ暗記できている。 	B <small>（良い）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発音，イントネーションを意識した発話ができている。 ・ 笑顔，聞き取りやすい声，適切なジェスチャーを意識して話している。 ・ 原稿は2回程度見るが，大半を覚えている。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。 			
A <small>（素晴らしい）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bができています。 ・ 英語独特の発音を常に意識して話している。 ・ 話すスピードを変えたり、適切な間を効果的にとったりしている。 ・ 原稿はほぼ暗記できている。 									
B <small>（良い）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発音，イントネーションを意識した発話ができている。 ・ 笑顔，聞き取りやすい声，適切なジェスチャーを意識して話している。 ・ 原稿は2回程度見るが，大半を覚えている。 									
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。 									
	○ どのように説明するか考えながら，原稿の暗唱をする。 ○ グループで話し合いながら，より良い表現法を考える。 (1)	○				ア①（活動の様子）				
9	帯 日本の文化を説明する英文インプット ○各自暗唱の練習をする。 ○ペアやグループで暗唱をチェックする。 ○タブレットを使って動画を撮影する。 (2)	○				ア①（活動の様子）				
10	帯 日本の文化を説明する英文インプット ○他のグループの原稿（紹介内容）・映像を見て，自分たちの映像と比較し，良いところを参考にする。 ○原稿や紹介方法等を改善する。 ○発表練習をする。 (1)	○				ア②（活動の様子）				
11	【イングリッシュデイ当日】 ○グループ内で打ち合わせをして最後の練習をする。 ○12名のALTにそれぞれのパフォーマンスを見せる。 ○授業用のワークシートと「塩中カード」に振り返りを書く。 (1)		◎		○	イ①・エ② （プレゼン映像）				
後日	【期末試験】 ○現在分詞・過去分詞を使った英作 ○リスニングテスト ○筆記テスト ○長文の読解			○	○	エ① ウ① エ② ウ②				

9 本時の展開

(1) 本時の目標

相手に伝わることを意識して，日本の行事やものについて説明することができる。

(2) 観点別評価規準

イ② 紹介したい日本の行事やものについて相手に伝わることを意識した説明ができる。

(3) 準備物

電子黒板，日本の伝統的な道具（できれば実物），行事のイラスト，ワークシート，シール

(4) 学習の展開

	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (◆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 (評価方法)						
導入	○あいさつをする。 ○Q&A ○ミニ読解 ○答え合わせをする。	●日直が日付, 曜日, 天気, 時間等を英語で質問し, 確認する。 ◆リアクションや質問をしながら, 話を続けられるようサポートする。 ◆答えを導くキーワードを見つけるヒントを与える。 ●できるだけ英語でやり取りをする。							
展開	○本時のめあてを知る。 ○この時間の評価指標を知る。 ○前時に学んだ日本文化についての説明文の中の空欄を埋めながら, 後置修飾の復習をする。 ○ALTからの質問に答えようとする。 ○前時に自分たちが書いた説明文を読み, 確認する。 ○個人で, 自分が担当したものの説明をする練習をする。 ○ペアやグループで確認しあう。	○今日のめあてを確認しよう。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> I can introduce some Japanese events and things in English. </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 評価指標 (ループリック) </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">A</td> <td> ・日本文化について4文以上の英文で相手を見て説明できた。 ・原稿を見ずに相手を見て説明できた。 ・相手への質問, ジェスチャーや実物を使うなどの工夫をした。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td> ・日本文化について, 2~3文で, 相手を見て説明できた。 (原稿は2回程度見てもよい) ・発音, イントネーション, 表情を意識して話せた。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td> ・Bに達しない。 </td> </tr> </tbody> </table> ●電子黒板で「雛祭り」, 「こどもの日」, 「七五三」, 「大みそか」, 「浴衣」, 「和太鼓」, 「風呂敷」, 「醤油」等の写真と説明文を示し, 後置修飾を復習させる。 ☆Look at the children (putting) on the red platform. They are celebrating (Doll festival). ☆This is yukata. It's a kind of kimono(worn)in summer. ●ALTがこれらについて質問して, やりとりをする。 ○ALT: When is Dolls festival? Do you all have these dolls? ○ALT: Is it different from kimono? Do you know how to wear it? ○ケミーシャにもっと詳しく説明してあげよう。 ●練習時間と発表する時間を示し, 見通しをもたせる。 ◆難しい単語の発音を確認する。 ●自然な発音, イントネーションになるようにアドバイスをする。 ●できれば自分のオリジナルの英文を加えたり, ALTに質問したりするなどのアドバイスをする。 ☆ I have my yukata. I wore it for fire festival last summer. ☆ My father makes soba every year. It's delicious.	A	・日本文化について4文以上の英文で相手を見て説明できた。 ・原稿を見ずに相手を見て説明できた。 ・相手への質問, ジェスチャーや実物を使うなどの工夫をした。	B	・日本文化について, 2~3文で, 相手を見て説明できた。 (原稿は2回程度見てもよい) ・発音, イントネーション, 表情を意識して話せた。	C	・Bに達しない。	
A	・日本文化について4文以上の英文で相手を見て説明できた。 ・原稿を見ずに相手を見て説明できた。 ・相手への質問, ジェスチャーや実物を使うなどの工夫をした。								
B	・日本文化について, 2~3文で, 相手を見て説明できた。 (原稿は2回程度見てもよい) ・発音, イントネーション, 表情を意識して話せた。								
C	・Bに達しない。								

	<p>○先生たちに自分のグループが担当する日本の行事やものについて英語で説明する。</p> <p>○終わった生徒は、その他の行事やものを説明する英文を書く。</p>	<p>☆ Have you ever worn yukata before?</p> <p>○説明できるグループは手を挙げてください。確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●できるだけ原稿を見ないように励ます。 ●よかったところを具体的に評価する。 ●「A」「B」の評価を伝える。 ●「こうすればさらによくなる」という改善点を伝える。 <p>●早くできたグループはその他の日本の行事やものを（正月・おせち・お年玉・節分・お盆・すもう等）を説明する英文を作るよう指示する。</p>	<p>イ②日本文化について相手に伝えることを意識した説明ができる。 (行動観察)</p>
<p>まとめ</p>	<p>○授業を振り返る。</p> <p>○次時の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今日の振り返りをノートに書く。 <p>☆先生目を見て、説明できた。</p> <p>☆自分のオリジナル文を加えられた。</p> <p>☆次はもっと発音に気をつけて自然な英語で話したい。</p> <p>☆原稿を読んってしまった。次はがんばりたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●次時から、イングリッシュデイに向けた準備に入ることを伝える。 	